

民意を反映する選挙制度実現
比例定数削減反対！ **運動情報**

憲法会議 発行

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

【憲法しんぶん速報版】

2012年3月29日

第334号 Tel 03-3261-9007
本号3号 Fax 03-3261-5453

明日(30日・金)

国会議員要請行動

11時30分衆議院第2議員会館第5面談室集合

(玄関で入館案内します)

国会議員要請を明日30日(金)午前11時30分から午後1時の予定でおこないます。呼びかけは11団体。今回の要請の対象は、「衆議院選挙制度改革を目指す議員連盟(略称「中選挙区議連」)メンバーをはじめ、3月7日の要請行動で訪問できなかった議員です。

この間の議員要請は、昨年の一時期とは異なり、各党の議員・秘書との間で、小選挙区制が民意をゆがめていること、政治の劣化をもたらしていること、比例定数削減の賛否など、突っ込んだ意見交換ができると好評です。

積極的なご参加を呼びかけます。

11団体当面の日程

院内集会 & 議員要請

4月19日(木)午後1時～ 衆議院第1議員会館1階多目的ホール

いよいよ消費税増税法案明日閣議決定へ 国民の声は「増税反対」「閣議決定中止を」

増税を前提にした民主党内の数日間にわたる事前調整が鳴り物入りで行われていましたが、28日未明「決着」しました。2014年8%、15年10%に引き上げる消費税増税法案は30日に閣議決定され、国会に提出される見通しです。「社会保障・税一体改革大綱」(2月17日閣議決定)にもとづくもので、「大綱」では政治改革(議員定数80削減)、行政改革(公務員総人件費削減)実施を掲げており、すでに国家公務員の賃下げ関連法は多くの反対

を押し切って強行成立しています。衆議院比例定数削減をめぐるっては、「選挙制度の抜本改革を」「削減反対」という国民の世論と運動が急速に広がる中で、国会内の「各党協議会」では、民主党を除く各党間で、小選挙区制が民意を歪めており、抜本改革が必要なこと、比例部分の削減は問題であることなどで一致しています。

全国各地で進む宣伝、集会、学習会、意見書採択などの活動

東京では、11 団体による院内集会&議員要請（3月7日）、街頭宣伝・署名行動（3月14日）などに取り組んでいます。14日の宣伝では、「課税府のノダ」リーフ1面を拡大し注目を集めました。

リーフレットは歓迎され、2刷となっています。

婦団連、新日本婦人の会、婦人有権者同盟、日本YWCAなど16の女性団体の代表が3月7日、「衆院比例定数削減反対」で各政党と衆院選挙制度に関する各党協議会メンバー、女性議員に要請し、行動後議員会館内で記者会見を行ないました。

また国際婦人年連絡会（36団体）は21日、女性の政治参画を拡大し、多様な民意を反映する選挙制度を求めて、各党代表、衆院選挙制度に関する各党協議会メンバー、女性議員に要請行動を行ないました。

全国各地で多様な運動がひろがっています。その中からいくつかを紹介します。

【札幌市議会で3月28日、意見書が採択されました。提案した日本共産党、公明党とみんなの党、市民ネット、市政改革クラブの44人が賛成、反対は民主党（22人）。下記に全文】

衆議院の比例代表定数削減に関する意見書

民主党は、第180通常国会に、「社会保障と税の一体改革」の財源保障を理由に、消費税増税と「引き換え」に衆議院の比例代表定数80削減を提案するとしている。

比例代表定数削減は、民主党が掲げるマニフェストであるが、これは、選挙制度をより小選挙区制に近づけるもので、大政党に有利となる。

民主党が言うように比例代表定数を80削減すると、比例代表定数は100となり、衆議院定数の4分の3は、4割台の得票で7割の議席を得ることが可能な小選挙区制で選ぶことになる。しかし、小選挙区制では、死票が多く、多様な民意が切り捨てられることになる。

よって、国会においては、衆議院の比例代表定数を確保し、民意を正確に反映する選挙制度構築へ向け、小選挙区制の問題を含めた本格的議論を開始するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成24年（2012年）3月28日

札幌市議会

【北海道 3 団体が主催して学習会】

学習会「比例定数削減を阻止するために！私たちの声が届く国会をつくろう」が、3月12日札幌市で開かれました。60人が参加しました。主催・呼びかけは北海道憲法会議、北海道

憲法改悪反対共同センター、自由法曹団北海道支部の3団体。山口真美自由法曹団衆院比例定数削減阻止対策本部事務局長が講演しました。

【青森 2カ所で宣伝・署名】

3月15日青森市新町通りで「戦争いやだ 憲法守れ！ 県民の会（憲法ネット青森）」の宣伝・署名行動が取り組まれました。のぼり（憲法会議作成）をかかげ、田中清治県労連副議長、吉田好男事務局長らが訴えました。

またこの日、「戦争いやだ 憲法守れ！ 中弘南黒の会」が弘前市のイトーヨーカドー前で宣伝し、佐藤倅造同会代表、千葉浩規日本共産党津軽地区委員長らが訴えました。

【憲法ネット青森が学習会】

3月17日、憲法ネット青森（戦争いやだ 憲法守れ！ 県民の会）は憲法学習交流集会・総会を開催し、41人が参加しました。学習会では、小野寺義象弁護士（仙台・一番町法律事務所）が「民意を反映する選挙制度に！～比例定数削減は少数政党の切り捨て～」の講演を行ないました。

【京都 選挙制度改悪反対で集会】

京都総評、京商連、新日本婦人の会京都府本部、京都民医連、京都憲法会議、自由法曹団京都支部が呼びかけ、3月23日70人が参加して選挙制度改悪に反対する決起集会が開催されました。集会では穀田恵二衆院議員が国会報告、小松浩立命館大学教授が講演、京商連代表の決意表明などがおこなわれました。

集会では、「課税府のノダ」リーフの積極的活用、各地、各団体で学習会をおこなうこと、毎月11日に統一街頭宣伝行動をおこなうことなどの行動提起が確認されました。

【奈良 連絡会結成】

「衆院比例定数の削減を阻止し、民意を正しく反映する選挙制度の実現をめざす奈良県連絡会」が3月2日、60人が参加して結成されました。今後、宣伝や署名、議員への働きかけなどを行なうことを確認しました。田中隆自由法曹団常任幹事が講演しました。

【岡山 科学者九条の会・岡山が講演会で訴え】

科学者九条の会・岡山は3月8日、岡山大学で同会創立6周年記念講演会を開催、40人が参加しました。「議員定数を削減していいの？—議員定数と選挙制度の憲法論—」と題して上脇博之神戸学院大学法科大学院教授が講演しました。

【ひな祭りピースウォークや国際女性デーなどでもスローガン掲げ】

北海道の「自衛隊の海外派兵反対！ 憲法の平和原則を守る北海道女性連絡会」が3月2日札幌市内で60人が参加してひな祭りピースパレードを行いました。「民主主義を壊す比例定数削減反対！」のプラカードが注目を集めました。

2012年国際女性デー岡山県集会が3月3日50人の参加で開かれました。河重寛子実行委員長は「衆院比例定数削減は絶対許せません。政党助成金こそなくべき」と訴えました。集会後のパレードもにぎやかに行われました。